

6

第6章 /

観光振興計画策定の経過

前期計画策定時の経過

2020年（令和2年）

時期	
2月	観光振興計画準備室の設置（摩周観光文化センター内）

2021年（令和3年）

時期		対象（※1）	内容
1月	観光振興計画意見交換会	運協、観光協会	策定の背景、策定の進め方、ビジョンの方針、スケジュール、体制の方向性、策定に向けた課題の洗い出し（マネジメント・財源・マーケティング・受入整備）
2月	観光振興計画意見交換会	町議会、農協、商工会、振興公社、えこまち	
	観光振興計画策定会議	観光協会担当理事	”自然と人が共存する持続可能な観光地づくり（弟子屈の目指す100年続くまち）”というテーマでのワークショップ
3月	観光振興計画策定会議	観光協会担当理事	Cross SWOT分析を通じた発見の共有、戦略課題の検討
	観光振興計画策定会議	えこまち	アクションプランの頭出し
4月	観光振興計画策定会議	振興公社	アクションプランの頭出し
5月	観光振興計画策定会議	観光協会	アクションプランの頭出し
6月	観光振興計画策定会議	観光協会担当理事	観光振興計画（準備稿）の骨格共有
	観光振興計画策定会議	商工会	アクションプランの頭出し
	観光振興計画策定ワークショップ①	えこまち	アクションプランワークショップ
7月	観光振興計画策定ワークショップ②	えこまち	地域から集まったアクションアイデアの取り組み優先順位の整理とアクションプランへのブラッシュアップ
	観光振興計画策定会議	観光協会理事	観光振興計画（準備稿）の共有
9月	観光振興計画 実施稿に向けた関係各所との合意形成（計画内で「所管」「連携」と記載されたすべての団体）		
10月	観光振興計画スローガン決定 「行きたいまちへ、生きたいまちへ。」		
	観光振興計画内 アクションプランの落とし込み／庁内関係課との調整		
11月	メインKPI、サブKPIの決定		
12月	観光振興計画 デザイン、校正		

2022年（令和4年）

時期	
2月	観光振興計画 要約版の作成
3月	観光振興計画 説明会実施
	一社）摩周湖観光協会が地域DMOへ登録
4月	弟子屈町観光振興計画 施行

後期計画策定時の経過

2025年（令和7年）

時期		対象（※1）	内容
9-10月	前期計画の検証		個別アクションの実施状況、KPI達成状況の確認
11月	ステークホルダーヒアリング	※2	前期計画の検証結果の共有 後期計画に向けたアンケートの実施
12月	説明会	えこまち	ステークホルダーヒアリングの結果公表 改訂の方針についての協議
	改訂方針会議	観光協会	改訂方針を反映したアクションプラン案を作成

2026年（令和8年）

時期		対象（※1）	内容
1月	アクションプラン案の検討を依頼	※2	後期計画アクションプラン案の共有と意見募集
	説明会	えこまち	アクションプラン案の共有と意見募集の結果共有
2月	弟子屈町観光経済戦略会議	構成団体	後期計画準備稿の共有と方向性の確認
4月	弟子屈町観光振興計画後期計画 施行		

※1 対象

掲載スペースの都合上、以下の団体の略称を用いています。

運協＝阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会 / 観光協会＝摩周湖観光協会 / 農協＝摩周湖農業協同組合 / 商工会＝弟子屈町商工会
振興公社＝弟子屈町振興公社 / えこまち＝てしかがえこまち推進協議会

※2 ヒアリング実施団体

【弟子屈町観光経済戦略会議所属団体】摩周湖観光協会、弟子屈町商工会、摩周湖農業協同組合、釧路信用金庫弟子屈支店、北洋銀行弟子屈支店

【てしかがえこまち推進協議会構成団体】弟子屈町教育委員会、弟子屈町振興公社、弟子屈町自治会連合会、てしかが郷土研究会

【てしかがえこまち推進協議会各専門部会】エコツーリズム推進部会、人財育成部会、食文化部会、女性部会、UD部会、情報部会、アート部会

【弟子屈町】観光商工課、まちづくり政策課、環境生活課、健康こども課、福祉課、農林課

【環境省】阿寒摩周国立公園管理事務所

【地域団体】川湯温泉旅館組合、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会、弟子屈町地域公共交通活性化協議会、みちえき摩周直売会、てしかがトレイルクラブ、釧路川源流域ネットワーク



写真上：2022年6月および9月に実施した「町民ツアーでの観光振興計画の理解促進講座」

卷末資料

皆さまからのアイデア集

本計画の策定においては、町民の皆様にご多くの貴重なご意見や今後の具体的な取り組みアイデアを頂きました。全てのアイデアは弟子屈町の未来を作っていくために欠かせないものです。観光振興計画として現段階で掲載することは難しかったものの、ご提案いただいた取り組みアイデアを下記に紹介させていただきます。

観光資源の活用

- * 星空を活用した観光体験の造成
- * 屈斜路湖・中島での探索ツアーの造成
- * 国立公園でのウェディングフォトプラン
- * ゴルフツーリズムや、スポーツツーリズムの開発



川湯温泉の活性化

- * 温泉川や遊歩道に名前をつける
- * 街中拠点の再整備（バスターミナル）
- * 温泉街の一部を歩行者優先道路に変更
- * 温泉街へとつながる導線に、デザイン看板を設置

具体的なツールを作る

- * ユニバーサルなアイコンを作る
- * 統一コンセプトによる観光マップ、冊子、ウェブサイトを制作
- * えこパスのおしゃれ化

学べる観光のあり方を整備

- * 弟子屈の魅力を発信する語り部を含むツアー造成
- * 動画の制作
- * 弟子屈高校に観光学科を作り、人材を育成する

環境負荷の軽減

- * レンタル自転車を活用した、観光ルートの開発
- * 電動キックボードのシェアリング
- * 環境負荷に配慮したオリジナルボトルの開発
- * 屈斜路湖や釧路川源流の利用についての条例制定



用語集

あ

インバウンド

インバウンド (Inbound) とは、外国人が訪れてくる旅行のこと。日本のインバウンドとは、訪日外国人旅行や訪日旅行を指す。(出典：JTB 総合研究所)

オウンドメディア

弟子屈町のホームページや SNS など、自分たちで運営するメディアのこと。

オーバーツーリズム

サステナブルツーリズムの反対語。特定の観光地において、訪問客の著しい増加などが、住民生活や自然環境、景観等に対して受忍限度を超える負の影響をもたらしたり、観光客の満足度を著しく低下させるような状況。世界の観光地で、観光客の増加による交通機関の混雑や交通渋滞、ゴミや騒音など生活環境の悪化が住民の反発を招いたり、自然環境保護のため人気の高いビーチが閉鎖されるなどの状況が発生している。

か

カーボンゼロ (ゼロカーボン)

企業や家庭から出る二酸化炭素 (CO₂) などの温暖化ガスを減らし、森林による吸収分などと相殺して実質的な排出量をゼロにすること。「カーボンニュートラル」とも呼ばれる。政府は 2020 年 10 月、50 年までにカーボンゼロを達成する目標を掲げた。海外では欧州が 50 年、中国が 60 年までに「実質ゼロ」とすることを打ち出している。

カーボンオフセット

日常生活や経済活動に伴う温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせ (オフセット) すること。(出典：公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団)

カーボンプレジット

バイオマスボイラーや太陽光発電設備の導入、森林管理等のプロジェクトを対象に、そのプロジェクトが実施されなかった場合の温室効果ガスの排出量および除去量の見通し (ベースライン排出量等) と実際の排出量等 (プロジェクト排出量等) の差分について、測定・報告・検証を経て、国や企業等の間で取引できるよう認証したものを指す。(出典：環境省)

観光入込客数

弟子屈町を訪れた観光客の実人数。景勝地や観光施設などの来訪者数を元に算出している。

コワーキングスペース 【Coworking space】

コワーキングスペースは CO = 共同、ワーキング = 仕事、スペース = 場所を指し、企業や個人事業主に関わらず一緒に仕事ができる場所を指す。誰でも利用できるスペースや会員制など様々なサービスが生まれている。

コンテンツ

観光における「コンテンツ」とは、旅行者が現地体験するアクティビティ、景色、物語性などの「内容」を指す。

さ

サステナビリティ・コーディネーター

GSTC を通して発見した、地域の強みや弱みを分析し、持続可能な観光を弟子屈で作るにはどうしたらいいのかを考え、先導して実行する人材。

持続可能な観光 (サステナブルツーリズム)

地域の文化や自然環境に配慮し、本物を体験し味わうことなどを重要視しながら、観光地に住む町民と観光客とが相互に潤うことが重要という考え方に基づいた観光。地域住人・旅行者・環境が持続可能であり続けるには、どうすべきかを念頭に置いて、観光地の開発やサービスのあり方を考える旅の形。

持続可能な開発目標 SDGs 【Sustainable Development Goals】

持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) とは、2001 年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として 2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っているもの。(出典：外務省)

た

DESTINATION

旅行目的地、旅行先のこと。その範囲は行政区単位とは限らず、国や都市、地域全体を指すことがある。

テレワーク

テレワークとは「tele = 離れたところ」と「work = 働く」を合わせた造語。テレワークとは、「ICT（情報通信技術）を活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方」を指す。インターネットなどのICTを利用することで、本来勤務する場所から離れ、自宅などで仕事をする柔軟な働き方。（出典：厚生労働省）

は

ビジョン

これから描く未来像のイメージや方向性のこと。

フードマイレージ

フードマイレージとは食料の輸送量に距離を掛け合わせた指標。地球環境に与える負荷を把握するものとして使われている。（出典：農林水産省）

プロモーション

本稿で使用されているプロモーションとは、地域の魅力を発信し、誘客や販売を促進する活動のことを指す。

ペルソナ

ある仮定された一人の消費者について、家族構成や居住地、経済状況、趣味、交友関係など詳細なライフスタイルについて想像（創造）し、サービスや商品のターゲット像とするもの。（出典：JTB 総合研究所）

ま

マストツーリズム

観光の大衆化。レジャーとしての観光。大型バスで観光地に訪れる低価格重視な旅行プランが中心。環境問題やオーバーツーリズムにつながると懸念されている。

や

ユニバーサルデザイン

バリアフリーは、障がいによりもたらされるバリア（障壁）に対処するとの考え方であるのに対し、ユニバーサルデザインはあらかじめ、障がいの有無、年齢、性別、人種などにかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。（出典：総務省）

A

AT（アドベンチャートラベル）

「アドベンチャートラベル（AT）」とは、『アクティビティ』『自然』『異文化体験』の3つの要素のうち、2つ以上を組み合わせた旅行形態。ATの世界市場規模は70兆円を超えと言われており、従来の旅行形態「マストツーリズム」と比較して、旅行者一人当たりの消費額や地域への経済波及効果が大きく、需要拡大が期待できる観光分野として注目を集めている。

DMO

ディーエムオー（DMO）とは Destination Management/Marketing Organization の略称であり、観光地域づくり法人を意味する。「観光地域づくり法人は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人」とされている。（出典：観光庁）

GSTC 【Global Sustainable Tourism Council】

持続可能な観光の推進と、持続可能な観光の国際基準を作ることを目的に2007年に発足した国際非営利団体。持続可能な観光に関する国際基準（産業向け・観光地向け・MICE・アトラクションの各基準）を開発・保有。

JSTS-D （日本版持続可能な観光ガイドライン） 【Japan Sustainable Tourism Standard for Destinations】

「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」はグローバル・サステナブル・ツーリズム協議会（GSTC：Global Sustainable Tourism Council）が開発した国際基準である観光指標をベースとした日本向けガイドライン。

本書で使用しているロゴマークについて



サステナロゴマーク（表紙）

2023年に公式観光サイト「弟子屈なび」をリニューアルした際に作成したロゴマーク。弟子屈町観光振興計画のスローガンである「行きたいまちへ、生きたいまちへ。」の、分かりやすいコミュニケーションワードとして作成された「ふれる、めぐる、いきる。」を体現するものです。カルデラと湖、外輪山、それらと共生する人々の輪をイメージして作成され、「弟子屈なび」をはじめ、観光関係の制作物に活用しています。 <https://www.masyuko.or.jp>



川湯温泉ロゴマーク（p.30）

川湯温泉街の再整備に向けて、2025年に新たなロゴマークを作りました。コンセプトは「これまでの継承と再構築」。川湯温泉街を地域の皆さんと歩き、川湯神社や看板・標識、廃ホテルの名前や商品名などから「川」の文字を採集。それらの意味を考えながら組み合わせることで、新しい「川」の文字をデザインしました。パンフレットやポスター、ホームページ、提灯など、さまざまな制作物に活用しています。 <https://www.kawayu-onsen.com>



北海道
弟子屈町



弟子屈町の観光情報
(弟子屈なび)
www.masyuko.or.jp



弟子屈町役場
www.town.teshikaga.hokkaido.jp

弟子屈町観光振興計画（後期）
2026年4月



Photo: 冬の屈斜路湖をスタートするカヌー